

令和7年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和6年11月13日

上場会社名 中日本興業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 9643 URL <http://www.nakanihonkogyo.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）服部 徹
 問合せ先責任者（役職名）上席執行役員 感動創造支援本部本部長（氏名）加藤 康章 (TEL) 052-551-0274
 半期報告書提出予定日 令和6年11月14日 配当支払開始予定日 令和6年12月3日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年3月期第2四半期（中間期）の業績（令和6年4月1日～令和6年9月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期中間期	1,770	△8.3	△1	—	3	△97.5	△0	—
6年3月期中間期	1,930	10.9	130	808.1	134	412.3	110	641.8
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
7年3月期中間期	△1.32		—					
6年3月期中間期	209.14		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年3月期中間期	4,824	3,272	67.8
6年3月期	4,928	3,367	68.3

(参考) 自己資本 7年3月期中間期 3,272百万円 6年3月期 3,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
7年3月期	—	30.00			
7年3月期(予想)			—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和7年3月期の業績予想（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	△4.0	80	△3.1	100	8.5	80	2.7	150.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

7年3月期中間期	540,000株	6年3月期	540,000株
----------	----------	-------	----------

② 期末自己株式数

7年3月期中間期	9,443株	6年3月期	9,363株
----------	--------	-------	--------

③ 期中平均株式数（中間期）

7年3月期中間期	530,584株	6年3月期中間期	530,637株
----------	----------	----------	----------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復傾向で推移しました。一方、不安定な国際情勢の長期化に伴う原材料・エネルギーコストの高騰、円安による物価の上昇等により、景気の先行きは不透明な状況が続いておりました。

このような状況のもと当社では、7月23日に多くの皆様方に愛し支えていただき、会社設立70年を迎えました。これにお応えすべく、お客様が楽しんでいただけるようサービスの一層の向上を図るため、挑戦し続けてまいりました。

その結果、売上高は17億70百万円(前年同期比8.3%減)、営業損失は1百万円(前年同期は営業利益1億30百万円)、経常利益は3百万円(前年同期比97.5%減)、中間純損失は0.6百万円(前年同期は中間純利益1億10百万円)となりました。

【シネマ事業】

シネマ部門では、7月までは洋画を中心に大作の上映が不足するなどし、興行収入は前年割れが継続し、8月以降によりやく前年を上回ったものの、前半の不振を回復しきれていない厳しい状況でした。

そのような中、「ミッドランドスクエア シネマ」の2スクリーンにおいて、カスタムスピーカーとハイエンドモデルのデジタルアンプを融合させたオリジナルサウンドシステム「粹(いき)」を開発し、より良い環境を提供させていただきました。7月から導入し、お客様には究極のシネマサウンドを楽しんでいただいております。また、コンセッション等付帯施設の販売強化に取り組み、収益の改善を図りました。

当上半期の主な上映作品としまして、邦画では、3月中旬公開「変な家」、6月公開「ディア・ファミリー」、8月公開「キングダム 大將軍の帰還」、8月公開の「ラストマイル」、洋画では、3月末公開「オープンハイマー」、4月公開「ゴジラ×コング 新たなる帝国」、5月公開「マッドマックス：フュリオサ」、7月公開の「デッドプール&ウルヴァリン」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン 100万ドルの五稜星」、7月公開「怪盗グルーのミニオン超変身」、8月公開の「インサイド・ヘッド2」、「僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト」、ODS(映画以外のデジタルコンテンツ)では、5月公開「ミュージカル『刀剣乱舞』 ㊤ 乱舞野外祭 特別スクリーン版」、8月公開「SEVENTEEN TOUR 'FOLLOW' AGAIN TO CINEMAS」、9月公開の「Mrs. GREEN APPLE The White Lounge in CINEMA」などの番組を編成いたしました。

さらに、上質なアート作品をお届けする「アートレーベル」、コアなアニメ作品をお届けする「アニメレーベル」においても、より充実した番組編成をしております。

その他、「どまんなかアニメ映画祭」や「カツベン付き無声映画上映会」などの独自のイベントを企画・運営することで、映画の活性化を進めるための文化活動も行っております。

また、飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」では、健康にこだわった素材を生かしたメニュー開発や店内イベントの継続的な実施により、お客様に満足いただける店舗創りに努めてまいりました。

名古屋市中村区の「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」では、7月にはドーナツのリニューアルを行い、映画館でのコンセッションでの売上が増加しました。また、映画作品などのコラボレーションでシナジー効果をもたらし、8月には過去最高の売上を達成することができました。

この結果、当事業では売上高は15億85百万円(前年同期比10.7%減)、セグメント損失は14百万円(前年同期はセグメント利益1億25百万円)となりました。

【アド事業】

引き続き資材の高騰による影響等が見られたものの、注力して取り組んでいた展示会のブース装飾の案件や、名古屋駅近郊の大型デジタルサイン設置に伴うプロジェクトマネジメント業務等が受注できたことにより、好調に推移いたしました。

この結果、当事業では売上高は1億45百万円(前年同期比25.2%増)、セグメント利益は3百万円(前年同期はセグメント損失10百万円)となりました。

【不動産賃貸事業】

既存賃貸物件の稼働状況・賃料水準は概ね堅調に推移しました。

この結果、当事業では売上高は39百万円(前年同期比1.1%増)、セグメント利益は10百万円(前年同期比35.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間会計期間末の総資産は48億24百万円となり、前事業年度末に比べ1億3百万円の減少となりました。主な要因は、流動資産の減少1億47百万円によるものであります。

負債は、15億51百万円となり、前事業年度末に比べ9百万円の減少となりました。主な要因は固定負債の減少4百万円によるものであります。

純資産は、32億72百万円となり、前事業年度末に比べ94百万円の減少となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和7年3月期の業績予想につきましては、令和6年5月14日公表時から変更はございません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和6年3月31日)	当中間会計期間 (令和6年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	842,268	672,345
受取手形及び売掛金	250,229	284,311
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	11,040	14,847
原材料及び貯蔵品	1,845	2,392
前払費用	31,907	34,344
預け金	50,825	39,346
その他	42,094	35,193
流動資産合計	1,530,211	1,382,782
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	864,242	866,509
構築物(純額)	9,024	8,565
機械装置及び運搬具(純額)	38,367	74,651
工具、器具及び備品(純額)	203,077	308,384
土地	695,913	695,913
建設仮勘定	195,450	211,730
有形固定資産合計	2,006,075	2,165,754
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウェア	63,620	56,182
無形固定資産合計	64,767	57,330
投資その他の資産		
投資有価証券	797,960	694,154
関係会社株式	10,000	10,000
差入保証金	492,380	492,440
長期前払費用	26,725	21,744
投資その他の資産合計	1,327,066	1,218,339
固定資産合計	3,397,910	3,441,424
資産合計	4,928,121	4,824,206

(単位:千円)

	前事業年度 (令和6年3月31日)	当中間会計期間 (令和6年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	383,739	430,784
1年内返済予定の長期借入金	9,996	9,996
リース債務	58,234	84,481
未払金	23,437	12,846
未払法人税等	25,649	8,794
未払消費税等	34,333	—
未払費用	127,369	109,082
契約負債	56,239	56,983
従業員預り金	8,039	4,526
賞与引当金	18,440	20,110
その他	39,845	43,187
流動負債合計	785,325	780,794
固定負債		
長期借入金	238,338	233,340
リース債務	137,224	206,158
退職給付引当金	76,420	79,814
長期末払金	21,500	21,500
資産除去債務	89,988	90,723
受入保証金	84,620	42,620
繰延税金負債	127,453	96,622
固定負債合計	775,545	770,779
負債合計	1,560,871	1,551,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	96,488	75,263
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	283,703	283,005
利益剰余金合計	2,827,692	2,805,768
自己株式	△71,755	△72,618
株主資本合計	3,025,950	3,003,163
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	341,299	269,469
評価・換算差額等合計	341,299	269,469
純資産合計	3,367,250	3,272,633
負債純資産合計	4,928,121	4,824,206

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)	当中間会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)
売上高	1,930,235	1,770,609
売上原価	952,256	858,371
売上総利益	977,978	912,238
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	19,131	29,906
人件費	290,698	332,301
賞与引当金繰入額	17,620	20,110
退職給付費用	3,439	3,393
減価償却費	90,370	88,790
地代家賃	201,309	200,284
水道光熱費	45,042	46,046
修繕費	1,946	2,860
その他	177,880	189,608
販売費及び一般管理費合計	847,439	913,302
営業利益又は営業損失(△)	130,538	△1,063
営業外収益		
受取利息	1,262	1,326
受取配当金	6,412	8,726
協賛金収入	350	64
その他	1,694	1,465
営業外収益合計	9,720	11,582
営業外費用		
支払利息	—	889
長期前払費用償却	3,034	3,034
その他	2,638	3,230
営業外費用合計	5,673	7,153
経常利益	134,585	3,365
特別利益		
固定資産売却益	116	—
特別利益合計	116	—
特別損失		
固定資産除却損	526	—
特別損失合計	526	—
税引前中間純利益	134,175	3,365
法人税等	23,198	4,063
中間純利益又は中間純損失(△)	110,977	△698

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)	当中間会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	134,175	3,365
減価償却費	95,275	97,612
長期前払費用償却額	3,034	3,034
賞与引当金の増減額(△は減少)	△130	1,670
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,217	3,393
受取利息及び受取配当金	△7,675	△10,053
支払利息	—	889
固定資産売却損益(△は益)	△116	—
固定資産除却損	526	—
売上債権の増減額(△は増加)	7,320	△34,081
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,530	△4,354
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,025	28,977
長期前払費用の増減額(△は増加)	△4,459	1,947
仕入債務の増減額(△は減少)	49,095	47,044
未払金の増減額(△は減少)	△28,144	△10,590
未払消費税等の増減額(△は減少)	△29,212	△34,333
未払費用の増減額(△は減少)	14,390	△18,286
契約負債の増減額(△は減少)	7,566	744
その他の流動負債の増減額(△は減少)	10,009	△2,839
その他	37,750	△42,060
小計	291,745	32,078
利息及び配当金の受取額	7,675	10,053
利息の支払額	—	△889
法人税等の支払額	△7,244	△17,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,176	23,712
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	116	—
有形固定資産の取得による支出	△30,213	△119,798
無形固定資産の取得による支出	△1,135	△3,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,232	△122,998
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	—	△4,998
リース債務の返済による支出	△33,319	△43,550
配当金の支払額	△15,919	△21,225
自己株式の取得による支出	—	△863
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,238	△70,636
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	211,705	△169,923
現金及び現金同等物の期首残高	962,481	1,037,268
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,174,186	867,345

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間会計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間損益 計算書計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	1,704,202	—	—	1,704,202	—	1,704,202
飲食店関連	71,017	—	—	71,017	—	71,017
看板製作及び広告関連	—	116,095	—	116,095	—	116,095
顧客との契約から生じる収益	1,775,220	116,095	—	1,891,315	—	1,891,315
その他の収入	—	—	38,919	38,919	—	38,919
外部顧客への売上高	1,775,220	116,095	38,919	1,930,235	—	1,930,235
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,775,220	116,095	38,919	1,930,235	—	1,930,235
セグメント利益又は損失(△)	125,444	△10,583	15,677	130,538	—	130,538

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間会計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間損益 計算書計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	1,509,619	—	—	1,509,619	—	1,509,619
飲食店関連	76,232	—	—	76,232	—	76,232
看板製作及び広告関連	—	145,403	—	145,403	—	145,403
顧客との契約から生じる収益	1,585,851	145,403	—	1,731,255	—	1,731,255
その他の収入	—	—	39,354	39,354	—	39,354
外部顧客への売上高	1,585,851	145,403	39,354	1,770,609	—	1,770,609
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,585,851	145,403	39,354	1,770,609	—	1,770,609
セグメント利益又は損失(△)	△14,761	3,637	10,059	△1,063	—	△1,063

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。